



梅田中だより

<第9号>

8月

2学期のスタートです。 自分の目標をしっかりと掲げてチャレンジを！

いよいよ2学期が始まりました。今年は、コロナウィルス感染症の影響で7月31日まで1学期が延長され、夏休みが例年より短くなりましたが、ゆっくり身体を休ませることができたでしょうか。

夏休みに入る前に、子供たちには、目標や計画を立てて、有意義に夏休みを過ごしてほしいと話しましたが、保護者の方々から見た子供たちの夏休み中の生活はいかがだったでしょうか？



夏休みに入るときに子供たちに、3つのお願いをしました。

- 1つ目は、どんな本でもよいですから読書を楽しんでほしい。
読書は「頭に栄養」を与えます。
- 2つ目は、食事を朝、昼、晩としっかりとってほしい。
食事は「体に栄養」を与えます。
- 3つ目は、自分から進んでお手伝いやボランティア活動を行ってほしい。
人のために奉仕する活動は「心に栄養」を与えます。



小さなことかもしれませんが、この小さなことの積み重ねが、これからの社会を生きていくうえでとても大切なことだと思います。ご家庭でも、お子さんと一緒に話題として取り上げていただき、今後、ご指導をいただけましたら幸いです。

さて、2学期は、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、食欲の秋などと言われています。このようなコロナウィルスの影響が続く中ではありますが、ようやく学校生活も通常に戻りつつあります。今年度は学校においても、体育祭や音楽祭をはじめ、3年生の修学旅行、2年生の校外学習、1年生の桐生巡り等の学校行事の再検討をしております。

また、2学期は3年生の大切な進路選択の時期にもなります。「自分自身を大切に生きて」「人のため、社会のために自分の持っている力を生かす」「自分が周りの人の力によって生かされていることに感謝する」、これらを意識して、この実りの多い学期を歩み続け、成長を深めていってほしいと思います。

ぜひ、夢や目標に向かう力を大切に育てていきたいと思って指導を重ねてまいりますので、これからの2学期を、より実り多い学期にできますよう、ご協力をお願いいたします。

< 2学期に育てたい行動・態度 >

- 1年： 集団の一員として自己の役割と責任を果たし、集団のために行動できる力**
- 2年： 積極的に行事に取り組む姿勢と協調性**
- 3年： 親や地域に対する感謝の心、夢や目標の実現へ向けた生き方**



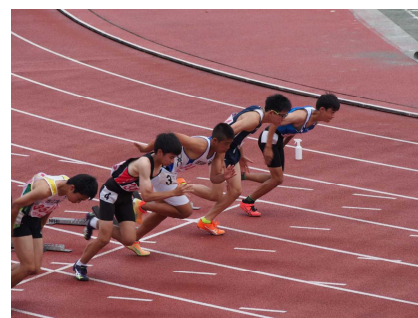
このようなコロナウィルスの影響がいつまで続くのかは、まだわかりませんが、現状をしっかりと見据えて適切に対処しながら、子供たちのために今できることは何かを考えて指導をしていきます。

2学期もよろしく願いいたします。

3年生からのバトンはしっかり受け取りました

7月に行われた各部の交流会が終了し、3年生が部活動を引退しました。8月以降は、いよいよ2年生が梅田中学校代表として活躍することになります。

8月22日には前橋の正田醤油スタジアム群馬において「通信陸上群馬県大会」が開催され、2年生の高草木涼君が100m走に出場しました。記録は12秒82で、惜しくも決勝進出はできませんでしたが、はつらつとした快走を見せてくれました。



右から2番目が高草木君です

9月からは桐生市の新人大会も予定されています。これからも2年生を中心とした梅田中学校の生徒たちが大活躍をしてくれることと思います。3年生の先輩たちからのバトンは、しっかりと後輩に受け継がれ、確実に新しい梅田中学校の歴史を刻んでいってくれることでしょうか。今後の生徒たちの活躍を期待していきたいと思います。ぜひ、保護者の皆様も応援をよろしく願います。

これからの世の中はどのように進んでいくのか

今回の新型コロナウイルスに罹患した方は、世界中で2200万人を超えているとの報道がありました。この影響で世の中には、様々な変化が起きています。経済や産業はもちろん、医療の現場や日常生活にいたるまで、ありとあらゆるところで新しい試みがなされ、この状況を乗り切るために改革と技術革新が進められています。このような中で、私たちが考え、学ぶことは何かについて、とても関心が高くなっていきます。

米デューク大学の研究者であるキャシー・デビッドソン氏は、2011年8月に「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就く」とニューヨークタイムズ紙でのインタビューで語っていたそうです。「今は存在していない職業」とはいったいどのようなものなのかと、その当時はとても不思議に思ったのですが、今回の新型コロナウイルス感染症が広まる中で、製薬会社で新薬を作ったり、3Dプリンターで医療用のフェイスシールドやドアを開けるときに手を触れずに済むような取っ手を制作したり、オンラインでの授業やWeb会議、そして給食で使うはずだった食材の野菜をインターネットで情報を発信し、農家の人の代わりに販売を手助けするなど、これまでは存在していなかった様々な働き方をする方が出てきています。なるほど、これがデビッドソン氏が言っていた「あの時は存在していなかった職業」なのかと妙に納得をしました。

今後、将来の変化を予測するのは、ますます難しい時代となっていますが、子供たちに対して社会の変化に巻き込まれるのではなく、自分自身で課題を発見し、周りの人とともに協力して解決を図れるような力をつけてもらいたいと思います。

これからの新しい仕事をしていくために知識や価値を創造する力を育成することが、これからの教育の喫緊の課題でもあります。そのためには、子供たちに「何を教えるか」だけでなく、子供たちが「どのように学ぶか」という視点が重要となり、「アクティブ・ラーニング」の視点で授業を改善し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習を充実させていくことが求められています。併せて、学校現場においては、ICT（情報通信技術）等も効果的に活用しながら、その指導方法の不断の改善を図ることが必要となっていくこととなります。



梅田中学校 学校通信 「梅田中だより」 <文責 阿部 誠二>

TEL 32-1018, FAX 32-1039

URL <http://www.kiryu-umeda-j.ed.jp/>

上のQRコード又はURLから梅田中学校のWebページをご覧ください。

※ ホームページの更新を随時しております。写真もカラーで掲載しておりますのでご覧ください。